

日刊工業新聞

三芳合金工業

三芳合金工業（埼玉県三芳町、萩野源次郎社長、049・258・3381）が、オンラインで大妻女子大学のインターン生を受け入れた。1年生12人を対象に「Zoom（ズーム）」を介して、3日間かけてさまざまなメニューを展開。中でも新商品開発のグループミーティングでは、リモートながら学生からユニークなアイデアが次々上がり、運営した社員も感心しきりだった。（川越支局長・大橋修）

インターンシップ オンラインで受け入れ

大妻女子大の学生12人

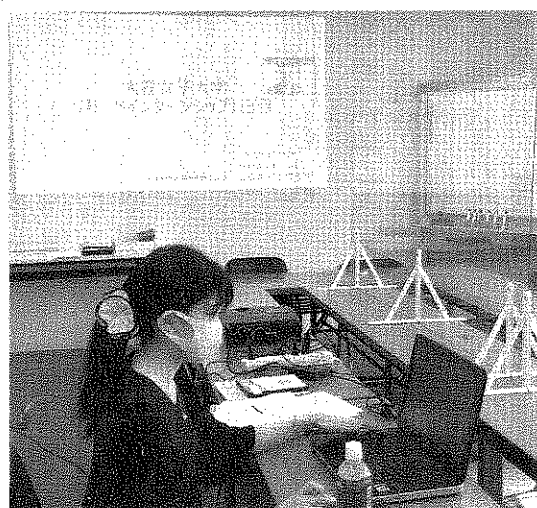
事前に製造現場を収録、編集して作業風景の動画を見てもらうなど、オンラインならではの工夫を多数施した。ただ「1年生なので登校もできず、参加した学生も初対面同士。なるべく自分で考え、発言してもらいたい」（萩野社長）との狙いで12人を3組に分け、新製品のデザインやパッケージを考案するグループミーティングを約1時間実施。各組に社員1人がファシ

リレーターとして張り付き、会議を進行しつつ発言を促した。

新製品はウイルス感染対策のための金属製グリップ。電車のつり

革やドアノブに引つ掛けることで、それらを触らずに利用できるようにする便利グッズも出た。

全体を企画・運営した総務課の宇田川彩美さんは「我々も思いつかなかった折り畳みのアイデアが出るなど、そこまで意見を出し合



だ。学生からは折り畳み式やアルファベットから形を選ぶタイプ、タッチパネル対応の滑り止めゴム付きなどのアイデアが続出。若者らしく、アルファベット形では「筆記体の良」
▲「学生たちがあそこまで意見をしっかりと出してくれるとは…」と宇田川さん
「学生たちがあそこまで意見をしっかりと出してくれるとは…」と宇田川さん
も年間十数人のインターン生を受け入れており、今後もオンライン方式を加えて積極的に応じていく意向だ。

ユニークなアイデア続々

も年間十数人のインターン生を受け入れており、今後もオンライン方式を加えて積極的に応じていく意向だ。